



3年間を見通した年間指導計画例

年間 時数	4月		5月			6月				7月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月					
	週(時)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年 35時間	技術分野の入口 ガイダンス(3h)		A 材料と加工の技術(24h)															B 生物育成の技術(8h)																		
	①②③④⑤ 技術の分解 の回の方の 役割の流 れ		1-1 生活や社会とエネルギー変換の技術 ①身の回り の社会とエ ネルギー変 換の技術			1-2 材料を利用するための技術 ①②③④⑤⑥ 木金プラ製 材材属よ図 ののののの 性加材チぶ 工とのとク 種く工材の 類く工材の み				2-1 問題解決の手順 (実習例) ①②③④⑤ 問問構試製 題題想作の 解のとの 決発設準 流の見計備 れと課の改 題の善 設の定			2-2 製作のための技能(木材) 2-3 製作のための技能(金属・プラスチック) (実習例) ①②③④⑤⑥ 材切切穴組仕 料断削あ立上 取り(けがき) (けがきと切 断)						3 これからの 材料と加工 の技術と私 たちの未来 をふり返 ろう	1-1 生活や社会と生物育成の技術 ①身の回り の社会と生 物育成の技 術		1-2 さまざまな生物育成の技術 ①②③④⑤⑥⑦ 作物動物水森 物の物の産林 ののののの 栽培飼育物の 技術の栽培技 能の能の能			2 生物育成の技術による問題解決 (実習例) ①② 問育 題成 解計 決画 のと 育流 れ成 記 録											
	授業時数		3			6				5(問題発見～設計を含む)			12(製作～評価・改善を含む)						1	5		3(計5)														
	学習指導要領		ABCD(1)イ 取扱(1)ア(5)ウ			A(1)イ			A(1)ア			A(2)イ 取扱(1)イ(6)アイ			A(1)ア(2)ア 取扱(6)アイエ						A(3)アイ 取扱(7)	B(1)イ		B(1)ア 取扱(2)ア(6)アイ			B(1)イ(2)アイ 取扱(2)イ(6)アイエ									
2年 35時間	B 生物育成の技術 (3h)		C エネルギー変換の技術(19h)															D 情報の技術(13h)																		
	2 生物育成の技術による問題解決 (実習例)		3 これからの 生物育成 の技術と 私たちの 未来を ふり返 ろう			1-1 生活や社会とエネルギー変換の技術 ①身の回り の社会とエ ネルギー変 換の技術				1-2 電気の供給と利用 ①②③④⑤⑥ 電電電電電 気気気気気 ののののの 方供給の安 法のしくみ 利用				1-3 運動の利用 ①②③④ 機回運機 械転動械 と運動変 力の伝さ 達と品と 達と保 守点 検			2 エネルギー変換の技術による問題解決 (実習例) ① 問 題 解 決 の 流 れ						3 これからの エネルギー 変換の技 術と私 たちの 未来を ふり返 ろう	1-1 生活や社会と情報の技術 ①②③④ 身情デ の回コン の回ピル にリに あるの 情報 の構 成化 の特 徴		1-2 情報の伝達 ①② 情 報 通 信 ネ ッ ト ワ ー ク の 表 現 み		1-3 情報セキュリティと情報モラル ①②③ 情 報 的 財 産 の 保 護 と 活 用		1-4 コンピュータとプログラミング ①② コ ン ピ ユ ー タ に よ る 構 造 と 表 現 の し く み		2-1 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 (実習例) ①②③ 双 方 向 性 と ユ ー ザ に 対 し た 情 報 の 表 現				
	授業時数		2(計5)		1	7				3			8						1	2		2		2		2		5(計10)								
	学習指導要領		B(1)イ(2)アイ 取扱(2)イ (6)アイエ		B(3)アイ 取扱(7)		C(1)イ			C(1)ア				C(1)ア 取扱(3)			C(2)アイ 取扱(6)アイエ						C(3)アイ 取扱(7)	D(1)アイ		D(2)ア		D(1)ア		D4(1)ア 取扱(4)ア		D(1)ア(2)アイ 取扱(6)アイウエ				
3年 17.5時間	D 情報の技術(16h)		技術分野の出口																																	
	2-1 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 (実習例)		2-2 計測・制御のプログラミングによる問題解決 (実習例) ① 器 を 自 動 で 動 か す 使 っ て く み				② 問 題 解 決 の 流 れ			3 これからの 情報の技 術と私 たちの 未来を ふり返 ろう						③ 情 報 の 技 術 と 私 た ち の 未 来 を ふ り 返 ら う	技 術 分 野 の 出 口 の 技 術 を 組 み 合 わ せ た シ ス テ ム																			
	授業時数		5(計10)		10				1			1.5																								
	学習指導要領		D(1)ア(2)アイ 取扱(6)アイウエ		D(1)ア(3)アイ 取扱(6)アイウエ				D(4)アイ 取扱(7)			ABC(3)アイ D(4)アイ																								

・この年間指導計画例は、開隆堂の新教科書の配列・構成に対応しています。授業時数などは参考としていただき、各校の実情に合わせて組みかえてご利用ください。

・この指導計画例は今後変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

・この年間指導計画例では、「B生物育成の技術」を1年と2年に分けて、計11時間で配当していません。問題解決の内容によって時期を調整したり、管理作業の時間を工夫したりしてください。

・第1学年の最初に扱う内容では、3年間の技術分野の学習の見通しを立てさせるために、内容の「A材料と加工の技術」から「D情報の技術」までに示す技術について触れます。

・学習指導要領解説の内容A～Dにおける(2)及び内容Dの(3)では、各内容(1)のイで気付かせた見方・考え方により問題を見いだして課題を設定し、自分なりの解決策を構想させます。

・第3学年で取り上げる問題解決では、これまでの学習を踏まえた統合的な問題について扱います。

【配当時数】
ガイダンス：3
A材料と加工：24
B生物育成：11
Cエネルギー変換：19
D情報：29
技術分野の出口：1.5
計：87.5

この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って、令和7年度中学校教科書の内容解説資料として、配布を許可された資料です。